

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年3月31日

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区白金台5-20-5	指定管理者	社会福祉法人 奉優会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
<p>通所介護企画書には、送迎・食事・入浴・排泄・移動の5つの分野でそれぞれに支援や介助方法が明記されている。事業所では今後、利用者の個別の活動にも着目していきたいと考えており、これはコロナ禍において個人で行う活動が増えてきたことが要因ともなっている。今後は、利用者の楽しみを見出しながら、活動プログラムを作成・実施・記録し、見直しを繰り返していくプロセスを、一連のケアマネジメントに取り入れ、計画の充実を図っていくことも必要と思われる。より利用者の個性を捉えた通所介護計画としていくことが期待される。</p>		<p>コロナ禍において、上半期は集団での活動が難しくなっていたが、下半期は徐々にボランティアの受け入れや、ドライブによる外出を再開し、利用者の楽しみを見出しながら、運営してきた。定期的なアセスメントの実施により利用者本位の運営を行った。</p>	<p>各ボランティアの受け入れの再開、外出イベントの定期化及びイベント食の提供を実施していく。 利用者及び利用者家族との計画は、個別具体的に見直していく。</p>	<p>感染症対策を講じながら、各ボランティアの受け入れ、イベント等を再開することで、利用者の満足度を向上させるよう指導していく。 また、引き続き、個々のニーズをくみ取った通所介護計画を立てるよう指導していく。</p>
<p>ホームページやブログ、各種広報・説明資料等による情報発信について、担当職員を中心に事業所を挙げて取り組んでいる。しかし、重要課題の1つとして前年度に掲げていた目標である、「ホームページのユニークページビュー数毎月2000以上」に関しては、達成に至らなかった。そこで、これまで利用者の活動がメインだった情報発信について、職員の研修参加や感染予防に関わるような内容も、今後、積極的に盛り込むと同時に、更新数を向上させていく計画を掲げている。当該計画を着実に実行し、情報発信を強化していくことが期待される。</p>		<p>イベント等当日の情報をその日のうちにホームページで更新するなど、タイムリーな情報発信ができた。 しかし、ホームページビュー数が、目標の2,000件に達しなかった月があった。コロナ禍で活動が制限されている中ではあったが、活動報告は定期的に実施できていた。</p>	<p>各ボランティアの受け入れや各種イベントの再開により、発信可能な内容が増加していくことが想定できるため、一層タイムリーな更新に努めていく。 また、利用者だけでなく職員の研修参加やイベント交流も増えていくため、当該内容も記事にするなど、きめ細かな情報を分かりやすく発信していく。</p>	<p>通所介護事業で行われている多種多様な事業を正確かつ迅速に発信することで、事業の魅力を多くの人に伝えていくよう指導していく。</p>
<p>現在、利用契約時には重要事項説明書、契約書、パンフレットなどを用いた説明をしている。見学や体験を通じて、事業所の雰囲気を理解することはできていると思われるが、重要事項説明書等の文書では具体的なサービスのイメージが湧きにくいこともあると思われる。事業所では、ホームページ等で視覚的に活動を理解できる材料を多く蓄積している。今後はそうした材料を活かして、契約時に事業所の活動をイメージしやすく、利用者が積極的に取り組みたいと思われる資料を用意しておくことも良いかと思われる。今後の取り組みに期待したい。</p>		<p>施設の利用契約時には、重要事項説明書と契約書による説明に加え、事前の施設見学や体験利用のご案内も積極的に行うなど、利用者やその家族に対し、施設入所後のイメージがつかやすいよう努めた。</p>	<p>パンフレットを新しく更新し、見学や体験時、また契約時にもそのパンフレットをご覧いただくことで、施設入所後のイメージがより湧きやすいよう工夫していく。</p>	<p>最新の事業所の様子をパンフレットに掲載し、様々な場面で同パンフレットを用いて丁寧に説明すること、またその内容を適切な時期に更新するよう指導していく。</p>